

第6号 稲作管理特報

令和7年6月23日
朝 日 町
黒東地域農業技術者協議会

コシヒカリの草丈、葉令、葉色はほぼ平年並みで推移していますが、茎数が多くなっています。一部で中干しが不十分なほ場も見受けられるため、今後は、田面に小さな亀裂が入る程度の中干しを数回繰り返しほ場を固め、その後は「**間断かん水**」を実施し根の活力を高めましょう。

【コシヒカリの生育状況（JAみな穂管内）】 (展示ほ8ヶ所)

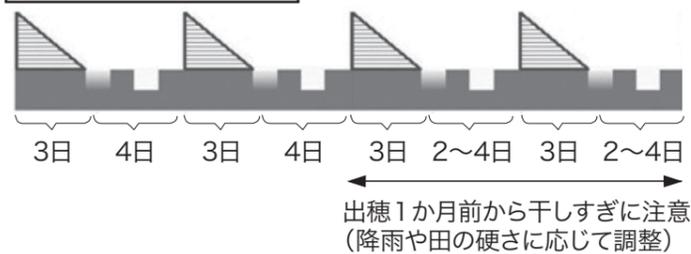
年度	田植日 (月/日)	6月10日				6月17日					
		草丈 cm	茎数		葉齢	葉色	草丈 cm	茎数		葉齢	葉色
		本/株	本/m ²					本/株	本/m ²		
R7	5/11	28.9	16.1	353	7.4	4.2	36.1	23.1	508	8.8	4.3
R6	5/12	31.6	13.7	283	7.1	4.3	37.4	22.2	459	8.8	4.4
平年	5/12	28.9	14.7	303	7.5	4.2	37.9	20.9	431	8.9	4.3

1 「中干し」後の水管理

○中干し後は、幼穂形成期まで「**間断かん水**」

- 根は幼穂形成期まで急速に増加します。**幼穂形成期まで湛水と落水を繰り返す「間断かん水」**で土壌に酸素と水を供給し、根の発達を促しましょう。
- 幼穂形成期頃までに、足跡深さが3cm程度の硬さになるようにしましょう。
- 出穂1か月前頃から基肥一発肥料の穂肥成分が溶出します。コシヒカリでは**7月に入ったら田を強く干さないように注意**しましょう。

間断かん水のイメージ



【間断かん水の方法】

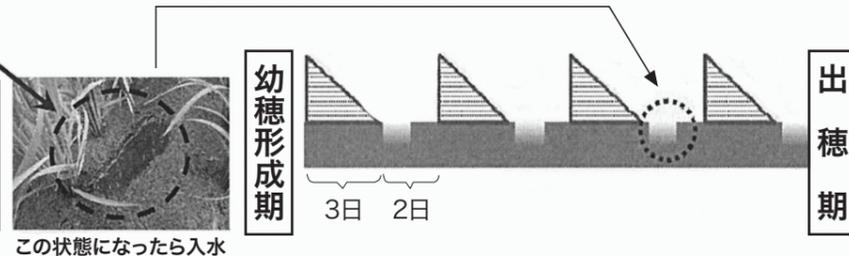
乾きやすい圃場：
入水→落水→2～3日落水
乾きにくい圃場：
入水→落水→4～5日落水
湛水と落水を繰り返し、根に新鮮な水と空気を交互に供給

○幼穂形成期～出穂期始めまでは「**飽水管理**」

- 常に足跡や溝に水が残るくらいの状態を保ち、根の活力と葉色の急激な低下を防止しましょう。

飽水管理のイメージ

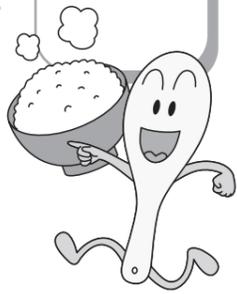
【飽水管理の方法】
3cm程度入水後→落水→足跡の水がなくなる前に入水 (出穂始め頃まで繰り返す)



- 大雨の後は排砂が実施される可能性があります。**連携排砂情報を確認し、水管理に注意**しましょう。



中干し後は、**間断かん水**を実施し、**稲体の健全化を図りましょう！**



2 草刈りの徹底

斑点米カメムシ類の発生は平年より早く、**発生頭数も極めて多い状況**です。斑点米カメムシ類を増殖させないよう**雑草地や畦畔の草刈りを徹底**しましょう。

カメムシはすでに雑草地に生息しています！



☆大麦跡田や転作田のほ場管理

- 大麦跡田などはカメムシ類の繁殖好適地となるため、雑草が繁茂しないよう管理するとともに、大豆や園芸作物、緑肥等を積極的に栽培しましょう。

～草刈り作業時の留意点～

例年、草刈り作業時における農作業事故が多発しています。草刈り作業を行う際は、周囲の安全を確認し、怪我や転倒等に注意しましょう。

令和7年度水田畦畔等草刈り運動期間

一斉草刈り日	
運動期間	6月27日(金)～7月6日(日)
一斉草刈り日	6月28日(土)～29日(日)

3 熱中症対策

これから本格的に気温が上がり、熱中症になる人が増えてきます。正しい知識を身につけ、適切に予防しましょう。

- 暑さを避ける** 高温時の作業はできるだけ避けましょう。
- 休憩と水分補給** のどの渇きを感じる前に水分・塩分を補給しましょう。
- 単独作業は避ける** 複数名で作業し、時間を決めて連絡を取り合きましょう。
- 予防アイテムの活用** 空調服やミストファンなどを活用しましょう。



ミストファン

※熱中症が疑われる場合は、**すぐに作業を中断し、速やかに病院で手当てを受けてください。**

☆令和7年6月1日から労働者への熱中症対策が義務化されました。労働者を雇用する事業者は、「早期発見のための体制整備」「重篤化を防止するための措置の実施手順の作成」を行い、その内容を関係作業者に周知するよう義務付けられます。



農林水産省HP

★JAみな穂では営農情報を配信しています。

- 営農メール：水稻栽培情報、気象・災害情報
- LINE：稲作管理特報などの各種特報

※右のQRコードを読み込み、案内に沿って手続きして下さい。



営農メール



LINE

・**みな穂** 営農センター ☎ 74-2440 ・**みな穂** あさひ支店経済課 ☎ 83-3212
新川農林振興センター農業普及課 ☎ 52-0094